情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦　2025 年　7 月　1 日作成　　第 2.0 版

研究課題名	***手術前診察情報からの併存疾患の自動抽出プログラムの開発***
研究の対象	2019 年 1 月から 2025 年 6 月までの間に横浜市立大学附属病院麻酔科において手術前外来を受診した患者さんを対象とします。
研究の目的	手術を受ける患者さんがどういった併存疾患を持っているのかについて、誰にでもわかりやすく、使いやすい形式でデータ化することは、医療従事者間の情報共有や研究を進めるために重要です。本研究では、手術を受ける患者さんの麻酔科術前外来での問診情報や検査データをもとに、併存疾患データを表形式で自動抽出するシステムを構築することを目指しています。
研究の方法	手術前外来カルテに記載されている問診情報や手術前の検査データを用いて、患者さんがどのような併存疾患をお持ちであるのかについて推定し、表形式で自動抽出するモデルを構築します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦　2024 年　9 月　24 日（研究機関の長の許可日）　～　西暦　2028 年　3 月　31 日 情報の利用を開始する予定日：西暦　2024 年　9 月　24 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、常用薬、術前採血検査結果 ・麻酔科外来カルテの「現病歴・プロブレムリスト」欄および「既往歴」欄のフリーテキスト情報 ・麻酔科外来カルテの併存疾患情報
試料・情報の授受	本研究では、データ解析のために情報を株式会社 MeDiCU へ提供します。情報はパスワードロックのかかった記録媒体を用いて直接手渡し、もしくは追跡可能な方法で送付を行い、その後セキュリティが確保されたサーバ上で解析を行います。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管しますが、個人が特定できないよう加工した情報については、本研究の目的以外の学術研究に用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性があるため、保管期間終了後も期間を定めず保管します。 廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長でありますが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院　麻酔科　東條　健太郎
利益相反	本研究は研究責任者が所属する診療科の基礎研究費および科研費「手術・ICU 部門システム情報を組み込んだ周術期特化型大規模データベースの構築」を用いて行います。本研究について、開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院麻酔科　（研究責任者）東條　健太郎 【データ解析機関】 株式会社 MeDiCU　（責任者）木下 喬弘

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004　横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学附属病院　麻酔科　（研究責任者・問い合わせ担当者）東條　健太郎

電話番号：045－787-2800（代表）